



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう  
R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 75 回 例会 1979 年 12 月 13 日 (木) 晴 第80号

出席報告

会 員 数	出 席 数	出 席 率	前回の修正
30 名	27 名	89.91 %	100 %
欠 席 者 石渡, 木崎, 高山			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司 会 芦 田 会 長

## ゲ ス ト

伊藤茂ガバナー 塚木 勉分区代理

## ビ ジ タ ー

金子 清君(座間) 星幸男君, 小沢睦君, 出縄茂君, 高橋久治君, 岩田章君, 野口栄三郎君

## 会 長 報 告

- ・本日大和中クラブ、ガバナー公式訪問の例会を持てましたこと会員一同嬉しく思っております。昨日来伊藤ガバナーをお迎えしてクラブ協議会が開かれ有意義のうちに多くのご示唆を頂きました事感謝致し、明解な道をお教え頂きました線にそって努力して参りたいと存じております。
- ・本日本変オメデタイ日に長谷川会員が、ポールハリス フェローを受彰されました。ガバナーより直接お受け取り下さい。



## 幹 事 報 告

- ・シカゴ大会、多数の参加を希望しております。出来るだけ早く幹事までお申し込み下さい。地区でもOn to Chicago 委員会が近く設置されることになっております。

## 委 員 会 報 告

- ロータリー情報委員会 藤田委員長
- ・12月20日(木)例会後、勉強会を行います。
- 親睦活動委員会 中西委員長
- ・お祝いの方6名。お誕生日、亀谷志郎君・同はま子夫人(12月14日) 松本忠明君、八千代夫人(12月14日) 創業記念日 松本忠明君(12月15日) 入会記念日 近藤富士男君(53年12月14日)

本日のプログラム	12月20日	伊藤(正)君 布施君, 古木君
次週予定	12月27日	3クラブ合同例会(小杉会館)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40  
及び 大和市商工会館内  
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より  
会長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実  
幹事 : 北砂 富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

## ガバナー公式訪問

### 伊藤茂ガバナー ご挨拶

ご紹介頂きました伊藤  
でご座居ます。当地区76  
番目の公式訪問でありあ  
と3クラブを残すのみと  
なりました。



さて本年度は国際ロータリー創立75周年であり  
又東京RCが誕生してから60周年という輝やかな  
い年度であります。ガバナーとして皆様と共にご  
奉仕の出来ますことを心から嬉しく存じておりま  
す。

去る10月相模原での地区大会には皆様のご協  
力を得て成功裡に無事終ることが出来ました事を感  
謝いたします。なお当クラブは分区内レベルでの  
会報優秀クラブとして表彰されました、更に手違  
いとは申せ出席優秀クラブ第10位でありながら表  
彰し得なかった失礼に対し深くお詫び致します。

塚本分区分区代理さんには昨日に続いてのご出席感  
謝いたします。ガバナーとのパイプ役を通すとい  
う役目であり今後ともよろしくお願い致します。

当クラブは2年目を迎える新しいクラブであ  
りながら、友愛と協調を掲げロータリーの実践哲  
学を勉ぼうとされている会長さん、そしてそのも  
とでよりよきクラブ作りに若き情熱を燃やしてい  
る北砂幹事さん、木目の細かいクラブ活動計画を  
拝見し、極めて心強く名門クラブとして格調高い  
風格を持ったクラブである事に対し敬意を表しま  
す。又本日も星特別代表にご出席を頂いておりま  
すが、私の最も尊敬申し上げている星先生、ご苦  
労も多かったとは思いますが、さぞ満足して当ク  
ラブの発展を見守っておられる事と拝察致します。

この後各委員会に対してのご教示を頂きましたが、  
(その要旨は次のクラブ協議会の中で併記させて頂  
きます。

さて最後にポーマ会長の意図するところをお話  
しさせて頂き終らせて頂きます。

私達は先達のロータリアンから奉仕の灯を受け  
継いだのでありますから、その奉仕の土台をさら

に堅固なものとし世界的拡大に誇りを持たなければ  
いけない。ロータリーは人間対人間の国際組織  
でありますから多くの人道的プロジェクトを立案  
し実行することが可能なのです。

寛大、理解、平和への道がはたして灯で照らさ  
れているでありましょうか。ロータリーをより大  
きくするには人であり、より大きな力であります。  
そして皆で有意義な冒険に挑戦しようではありません  
か。ロータリーは青年期を経て成熟期に入っ  
ているのです。自主的に自からを改善しクラブを  
より良いものにする努力が必要であります。

光には太陽系から来る自然界の光、智性と創造  
によって得られるエネルギーの光、そして人間の  
内からなるハートの光があります。人は暗黒の世  
世に光を求めます。

私達ロータリアンは全人類の行手を照らす松明  
をかざして勇気をもって起我の奉仕の実践のため  
踏み出そうではありませんか。LET SERVICE  
LIGHT THE WAY 奉仕の灯で道を照らそ  
う

以上のように力強くポーマ会長は語られたので  
あります。私達もこの75周年を悔いのない年度と  
するよう頑張りましょう。当クラブのご発展と会  
員各位のご多幸をお祈り申し上げ、公式訪問の言  
葉にかえさせていただきます。有難うご座居ました。

## クラブ協議会

12月12日(水)午後4時より4時間余にわたり  
伊藤ガバナーご臨席のもとに開かれました。

つぎに各委員会のクラブ活動計画についてガバ  
ナーからご教示を頂きました、そのコメントの要  
旨について。

S・A・A ……例会場におけるS.A.Aの位置  
づけは非常に権威あるものでありますから会場の  
雰囲気作りを断行して下さい。又途中退席は原則  
として認められないのですが、止むを得ざる時  
には思いやりのある判断を下されてよろしいです。  
クラブ奉仕委員会……来年6月地区協議会に当ク  
ラブもコ・ホストとしてご協力を頂くようにな  
ると思っておりますがよろしくお願い致します。従来と

はやゝ異なった発言順にさせていただきましたのはクラブ奉仕、これを行うに際してはその地区の職業の横断面（職業分類）を整理し、会員増強一選考を行い、会報によってクラブの動静が伝えられ雑誌一広報によって外へ向って報道されるといったわけでありませぬ。

**親睦活動委員会**……ロータリーの実践哲学をふまえた親睦が必要なのであります、そのなかから友情と親睦が生れその自転作用によって活動力が得られるのです。よく日本のRCは硬苦しいと云われますがその区別が必要なので、単なる社交クラブになり下ってはいけません。心のこもった活動計画立派なものです、頑張ってください。

**出席委員会**……出席こそは最小のそして最大の奉仕活動の始まりです。当クラブでは何も申し上げることはありません。只、最近、RCのない共産圏へ旅行される方も増えておりますが、その場合には長期病欠と同じ配慮をして上げて下さって結構だと思ひます。

現在の金字塔を大切に守って行って下さい。

**ロータリー情報委員会**……新入会員の同化という点に焦点をしばって勉強会を持っておられる事は大変素晴らしいことで他のクラブでは類をみません。口情報の行き届いているクラブは枯渇することなど考えられませぬ、自から出席も良くなり会員増強につながり、クラブ進展は約束されます。

**職業分類・会員増強・会員選考委員会**……地域社会に密着した職業分類が検討されており良い事です。未充填4：6充填という所が望ましいのです。全ロータリアンの10%は去って行くのが現状ですから10%+a（2%）の会員増強が必要となります。増強に際して質か量かとはよく云われることですが、オーストラリア（ロータリアン1人：390人）、ニュージーランド（1人：206人）、日本（1人：1450人）、ご承知の如くオーストラリアのRCからはライラ、職業交換プラン、3-H等多くの優れた計画が発表されています。テリトリーを共有する方式ならば量が多くなれば質が下るといふ事は問題にしないでよいと思ひます。

**クラブ会報・雑誌・広報委員会**……最近RIもこ

の報道という事に力を入れて参りまして、報道関係、宗教関係、外交官の3つの業種は何人でも入会させてよろしい（10%以内において）という様に変ってきております。会報はクラブの顔であり、此の度の表彰をお慶び申し上げる次第です。報道性、記録性、情報性、編集力、形態の5つによって選考されたのです。親しみ易い内部公報ということで引続き頑張ってくださいと思ひます。

「ロータリーの友」が公認指定地域機関誌として実験段階に入ったことはご承知の如くであります。当委員会の任務はロータリアン以外の人達にもより理解してもらうこととあります。

外部に対してはマスコミを活用することです。75周年の記念事業に対しての広報は全国的レベルのものとしてNHK交響楽団演奏会、三大新聞への報道なども企画されておりますが、当クラブでは特に地域に対しての広報活動を進めて下さい。

**プログラム委員会**……75周年という事で関連のプログラムに期待しております。といつてもこのプログラムの良し悪しによってクラブの総べての活動が左右されるといつてもよい程に重要な委員会であり、既にその様になっておりますが、より巾広い企画をお願い致します。現在各分区代理の方に依頼して特に感銘を与えた卓話のリストアップを急いでおります。いづれお手元にお届け出来ると思ひますが参考にして下さい。

**職業奉仕委員会**……職業奉仕とは自分の職業をとおして社会に奉仕するという事ですが、クラブ奉仕の裏付けの無いものでは意味がありません。ロータリーの職業奉仕とは相手の立場に立って適正な利潤を追求するものでなければいけません。

他のクラブにみられる様な、兎角も儲けなさい、そしてこれが地域に還元されたことで浄化されるのです、という考えとはやゝ趣きを異にしております。職業奉仕をやゝ具体的に述べるならば、例会をとつて四つのテストを修得し実行すること、事例研究、優良従業員の表彰と同時に自分の職場でロータリー精神の高揚に努めているかといふ事えの反省、社是社訓の検討、職員の健康管理と企業診断、等々であらうと思ひます。

職業は金儲けの手段ではなくして人間社会の分野として金を与えられるものであって、ロータリアンはその企業の代表者であるとの自覚が必要です。

**社会奉仕委員会**……ともするとロータリーは社会奉仕の団体として見られがちですが、職業人仲間の親睦活動によって得られたものを抛り所としてより良い地域社会の為に活動していこうという考え方であり1923年友愛のうちに1つの決着を見出しております。社会奉仕はロータリーの実践哲学であり、地域社会のニードを調査した上で重複をさけながら、途中で挫折することなく進行させて下さい。奉仕の主体はロータリアン個人がありますが、それが集まってクラブの1つのアクションとして地域社会に示されるべきものであります。又単年度にこだわらず継続してもよいもののあり、只今のロータリー文庫などは75周年記念の1つとして是非続けて下さい。

**青少年奉仕委員会**……青少年奉仕と青少年委員会とは全く別のものであり、青少年奉仕委員長の傘下に青少年委員会が置かれるものであります。次年度に向けてご検討下さい。

次にライラについて少し述べてみますと、豪州のクィーンズランド州で20年前に立案実行されたもので青少年指導者を集め1週間、文化、社会、教育プログラムに参加させることですが、日本では2泊3日方式で二の宮で毎年実施しております。また今後もローターアクトの側面的なご支援をお願いしておきます。

**国際奉仕委員会**……世界大戦後、国際間の親善と理解のために、1921年エジンバラ大会で第4部門として認められたのです。企業人、専門職業人、そしてロータリアン個人間の友情であったのです。ロータリー奉仕の理念は会員個人個人の奉仕であり、クラブはそれを鼓舞激励する為の役割を果たしていたのです。時は流れております。過去にこだわらず3Hプログラム等国際ロータリーでしかなし得ない課題に取り組んでいるのです。当クラブの中広いご活躍には深く敬意を表します。G.S.E. 並びに国際青少年交換などに対して積極

的なバックアップを頂き感謝しております。交換学生は立派に大使役を務めており長州知事も感激しておられました。一層のご協力をお願い申し上げます。

**ロータリー財団委員会**……1917年、アトランタ大会の席上アーチ・クランク氏の提案により博愛的、慈意的、教育的事業をおこ国際理解を推進しようというものであります。その基金状況は世界第1位2000% 256地区、第2位1500% ホノルル、第3位1300% 当259地区であり1人当たり100\$ 46Cという世界でも群を抜くものでボカラトーンで面目を施して参りました。そしてこの財団への貢献度によって専門職業人又は財団奨学生の枠が立案される分だけであります。積極的なご理解をお願い致します。

**米山奨学記念委員会**……昭和32年、主として東南アジア留学生に対する支援基金として発足したものであります。現在は台湾、ベトナム、韓国の学生が支給を受けており、台湾学生の90%は学位を取っており留学生の間で憧れの的になっているようです。普通寄付は会員1人¥1000以上、30万円のご支援頂いた場合には米山功労者と呼びしているであります。第1位東京、第2位大阪、第3位京都の順になっております。

よく米山基金が先きか財団がさきかと云われるところですが、それぞれ目的が違っておりますので各自ご自分で選択し一層のご協力をお願い致します。

**75周年記念委員会**……R I レベルでは3H-Pが記念事業の1つとして進められております。既に600万人分のポリオワクチンがカナダからフィリピンに送られ免疫活動が開始されております。

この事によってフィリピン政府もようやく本気で保健衛生の政策を打ち出すことになったそうです。ロータリーの提案が国政を動かしたことで頼もしい限りであります。

クラブ内における75周年記念事業はそれぞれの企画によって完結し、拡大し、或いは創設されるものでありますから地域に密着した計画を立案され実行して頂きたいと思っております。